

第8章 対人援助者監督指導（スーパービジョン） 事前課題

|目的

対人援助者監督指導（スーパービジョン）の機能（管理や教育、支持）を理解し、実践できる知識・技術を修得するとともに、スーパーバイザーとして主任介護支援専門員に求められる姿勢を理解する。

|修得目標

1. 対人援助者監督指導（スーパービジョン）の機能（管理、教育、支援、評価）を理解し、実践のための知識・技術を修得し実践できる。
2. 介護支援専門員に対して対人援助監督指導（スーパービジョン）を行う際の効果と留意点について説明できる。
3. スーパーバイザーとしての主任介護支援専門員の心構えや視点を持った介護支援専門員への関わり方について説明できる。
4. 個人対人援助者監督指導（個人スーパービジョン）とグループ対人対人援助者監督指導（グループスーパービジョン）を実施できる。
5. 事例に基づいて、対人援助者監督指導の具体的なポイントについて説明できる。

|事前課題について

「個人スーパービジョン演習」および「グループスーパービジョン演習」の際に、持ち寄り事例を使用し演習を行います。

別紙「スーパービジョン演習の事例概要」に自身の担当している事例の概要を記載し、当日までご準備ください。

※事前提出は不要です。

演習の際に使用いたしますので、画面共有できるようにデータでご準備いただくと円滑に進行できると思われます。

また、テキストにもあるように、「支援経過記録、課題分析標準項目、ジェノグラム、エコマップ、主治意見書、等々」の情報をお手元にご準備いただくことで場面の理解に役立ちます。